

事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業計画期間	平成24年度～平成28年度									
事業実施地区名 （都道府県名）	（つがる） 津軽森林計画区 （青森県）	事業実施主体	東北森林管理局 津軽森林管理署									
事業の概要・目的	<p>本計画の対象は、青森県の西部に位置する津軽森林計画区内の国有林野128,748haである。</p> <p>当計画区は、奥羽山脈の北端部の分水嶺から日本海に面した一帯、岩木山周辺、津軽半島の西側一帯に大別される。</p> <p>林況は、林地面積の68%がヒバやブナを主とする天然林、32%が主にスギやカラマツの人工林である。</p> <p>当計画区内は、優れた自然環境を有する地域が多く、原生的なブナ天然林が大面積にわたって維持されている地域は「白神山地森林生態系保護地域」に設定しているとともに、「白神山地世界遺産地域」、「十和田八幡平国立公園」、「白神山地自然環境保全地域」、「赤石溪流暗門の滝泉立自然公園」等に指定されている。これらの地域は、登山、湖沼・溪谷の散策等のほか、温泉やスキー場等の施設が整っていると同時に、弘前市、五所川原市等の都市部から比較的近距离に位置することから、森林を利用したレクリエーションや保健休養の場として四季を通じて多くの人々に利用されている。</p> <p>また、豊かな森林資源を利用して従来より木材加工業が発達しているほか、キノコや山菜を利用した林産物加工業が地域の重要な産業となっている。</p> <p>これらの地域に所在する森林は、それ自体が炭素の貯蔵庫であり、また、適切な森林整備とこれらを通じて供給される木材の有効活用を図ることが二酸化炭素の吸収・固定や排出抑制につながり、地球温暖化防止にも貢献することとなる。</p> <p>当事業は、これらの地域の特性を踏まえて、地球温暖化防止対策、水源涵養機能、木材生産機能等の森林の有する多面的機能を総合的かつ高度に発揮させるために必要な更新や間伐等の保育作業、並びにこれらを実施するために必要な路網整備を森林の重視すべき機能の区分に応じ実施するものである。</p>											
	<p>主な事業内容</p> <table border="0"> <tr> <td>森林整備</td> <td>更新面積</td> <td>1,165 ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td>保育面積</td> <td>11,211 ha</td> </tr> <tr> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td>23.3 km</td> </tr> </table> <p>総事業費 5,225,405 千円</p>			森林整備	更新面積	1,165 ha		保育面積	11,211 ha	路網整備	開設延長	23.3 km
森林整備	更新面積	1,165 ha										
	保育面積	11,211 ha										
路網整備	開設延長	23.3 km										
費用対効果分析	総 便 益 (B)	24,910,191 千円										
	総 費 用 (C)	5,942,881 千円										
	分析結果 (B/C)	4.19										
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要性： 地球温暖化防止対策や国土保全及び水源涵養等の公益的機能の発揮や木材の安定供給に関する地域の要請に応えるため、本事業の実施が必要である。 ・ 効率性： 費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。 ・ 有効性： 国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえた計画的な森林整備により、森林の有する機能を十分発揮させる有効な事業と認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備が効率的に計画されているものと認められる。</p>											

事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業計画期間	平成24年度～平成28年度																
事業実施地区名 （都道府県名）	（つがる） 津軽森林計画区 （青森県）	事業実施主体	東北森林管理局 津軽森林管理署金木支署																
事業の概要・目的	<p>本計画の対象は、青森県の北西部に位置する津軽森林計画区内の国有林野30,944haである。</p> <p>当計画区は、津軽半島中央の分水嶺に四ッ滝山、大倉岳等の700m以下の低山があり、林況は、林地面積の59%がヒバやブナを主とする天然林、41%が主にスギやカラマツの人工林である。また、日本海沿岸の屏風山は、砂丘上に造成したクロマツ人工林となっている。</p> <p>主な河川は、岩木川とその支流であり、津軽平野を北上してきた岩木川に今泉川、金木川、小田川等の河川が合流し日本海に注いでいる。</p> <p>当計画区内は、優れた自然環境を有する津軽国定公園等の豊かな自然環境が保全された森林や眺望山自然休養林、飯詰山自然観察教育林等優れた景観に恵まれた森林も多いことから、五所川原市等の都市部から比較的近距离に位置し、森林を利用したレクリエーションや保健休養の場として四季を通じて多くの人々に利用されている。</p> <p>また、豊かな森林資源を利用して従来より木材加工業が発達しているほか、キノコや山菜を利用した林産物加工業が地域の重要な産業となっている。</p> <p>これらの地域に所在する森林は、それ自体が炭素の貯蔵庫であり、また、適切な森林整備とこれらを通じて供給される木材の有効活用を図ることが二酸化炭素の吸収・固定や排出抑制につながり、地球温暖化防止にも貢献することとなる。</p> <p>当事業は、これらの地域の特性を踏まえて、地球温暖化防止対策、水源涵養機能、木材生産機能等の森林の有する多面的機能を総合的かつ高度に発揮させるために必要な更新や間伐等の保育作業、並びにこれらを実施するために必要な路網整備を森林の重視すべき機能の区分に応じ実施するものである。</p>																		
	<table> <tr> <td>主な事業内容</td> <td>森林整備</td> <td>更新面積</td> <td>105 ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>保育面積</td> <td>3,826 ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td>27.5 km</td> </tr> <tr> <td>総事業費</td> <td colspan="3">1,684,310 千円</td> </tr> </table>			主な事業内容	森林整備	更新面積	105 ha			保育面積	3,826 ha		路網整備	開設延長	27.5 km	総事業費	1,684,310 千円		
主な事業内容	森林整備	更新面積	105 ha																
		保育面積	3,826 ha																
	路網整備	開設延長	27.5 km																
総事業費	1,684,310 千円																		
費用対効果分析	総便益（B）	7,123,989 千円																	
	総費用（C）	1,747,080 千円																	
	分析結果（B/C）	4.08																	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> 必要性：地球温暖化防止対策や国土保全及び水源涵養等の公益的機能の発揮や木材の安定供給に関する地域の要請に応えるため、本事業の実施が必要である。 効率性：費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。 有効性：国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえた計画的な森林整備により、森林の有する機能を十分発揮させる有効な事業と認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備が効率的に計画されているものと認められる。</p>																		

事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業計画期間	平成24年度～平成28年度																
事業実施地区名 （都道府県名）	（くじへいがわ） 久慈・閉伊川森林計画区 （岩手県）	事業実施主体	東北森林管理局 三陸北部森林管理署																
事業の概要・目的	<p>本計画の対象は、岩手県の北東部に位置する久慈・閉伊川森林計画区内の国有林野66,783haである。</p> <p>当計画区は北上高地から太平洋沿岸に東傾しており、主な山岳は、早池峰山、御大堂山、三巢子岳、薬師岳がある。また、主な河川は、小本川、田老川、閉伊川、津軽石川等が東流して太平洋に注いでいる。</p> <p>林況は、林地面積の57%がブナ、ナラ、アカマツ等の天然林、43%がアカマツやカラマツの人工林である。</p> <p>当計画区内では、優れた景観を有する地域が多く、原始的な天然林等の優れた自然環境を維持・保全するため「早池峰山周辺森林生態系保護地域」を設定しているとともに、「陸中海岸国立公園」、「早池峰国定公園」、等に指定されており、登山、渓谷等の散策、キャンプ等の森林を利用したレクリエーションや保健休養の場として四季を通じて多くの人々に利用されている。</p> <p>また、豊かな森林資源を利用して従来より木材加工業が発達しており、地域の重要な産業となっている。</p> <p>さらに、東日本大震災の津波により多くの家屋、工場等が被害を受け、今後は復興建築資材として当計画区の森林資源を安定的に供給することが重要となる。</p> <p>当事業は、これらの地域の特性を踏まえて、地球温暖化防止対策や水源涵養機能に加え、東日本大震災からの復興等木材生産機能等の森林の有する多面的機能を総合的かつ高度に発揮させるために必要な更新や間伐等の保育作業、並びにこれらを実施するために必要な路網整備を森林の重視すべき機能の区分に応じ実施するものである。</p>																		
	<table> <tr> <td>主な事業内容</td> <td>森林整備</td> <td>更新面積</td> <td>541 ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>保育面積</td> <td>8,011 ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td>30.0 km</td> </tr> <tr> <td>総事業費</td> <td colspan="3">3,492,699 千円</td> </tr> </table>			主な事業内容	森林整備	更新面積	541 ha			保育面積	8,011 ha		路網整備	開設延長	30.0 km	総事業費	3,492,699 千円		
主な事業内容	森林整備	更新面積	541 ha																
		保育面積	8,011 ha																
	路網整備	開設延長	30.0 km																
総事業費	3,492,699 千円																		
費用対効果分析	総便益（B）	18,267,572 千円																	
	総費用（C）	3,878,133 千円																	
	分析結果（B/C）	4.71																	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> 必要性：地球温暖化防止対策や国土保全及び水源涵養等の公益的機能の発揮や木材の安定供給に関する地域の要請に応えるため、本事業の実施が必要である。 効率性：費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。 有効性：国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえた計画的な森林整備により、森林の有する機能を十分発揮させる有効な事業と認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備が効率的に計画されているものと認められる。</p>																		

事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業計画期間	平成24年度～平成28年度																
事業実施地区名 （都道府県名）	（くじへいがわ） 久慈・閉伊川森林計画区 （岩手県）	事業実施主体	東北森林管理局 三陸北部森林管理署久慈支署																
事業の概要・目的	<p>本計画の対象は、岩手県の北東部に位置する久慈・閉伊川森林計画区内の国有林野26,833haである。</p> <p>当計画区は北上高地から太平洋沿岸に東傾しており、主な山岳は、平庭岳、遠島山、穴目ヶ岳、黒森山がある。また、主な河川は、久慈川、安家川、普代川、等が東流して太平洋に注いでいる。</p> <p>林況は、林地面積の51%がブナ、ナラ、アカマツ等の天然林、49%がアカマツやカラマツの人工林である。</p> <p>当計画区内では、優れた景観を有する地域が多く、原始的な天然林等の優れた自然環境を維持・保全するため「陸中海岸国立公園」、「久慈平庭県立自然公園」等に指定されており、登山、溪谷等の散策、キャンプ等の森林を利用したレクリエーションや保健休養の場として四季を通じて多くの人々に利用されている。</p> <p>また、豊かな森林資源を利用して従来より木材加工業が発達しており、地域の重要な産業となっている。</p> <p>さらに、東日本大震災の津波により多くの家屋、工場等が被害を受け、今後は復興建築資材として当計画区の森林資源を安定的に供給することが重要となる。</p> <p>当事業は、これらの地域の特性を踏まえて、地球温暖化防止対策や水源涵養機能に加え、東日本大震災からの復興等木材生産機能等の森林の有する多面的機能を総合的かつ高度に発揮させるために必要な更新や間伐等の保育作業、並びにこれらを実施するために必要な路網整備を森林の重視すべき機能の区分に応じ実施するものである。</p>																		
	<table> <tr> <td>主な事業内容</td> <td>森林整備</td> <td>更新面積</td> <td>95 ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>保育面積</td> <td>2,983 ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td>44.4 km</td> </tr> <tr> <td>総事業費</td> <td colspan="3">1,780,840 千円</td> </tr> </table>			主な事業内容	森林整備	更新面積	95 ha			保育面積	2,983 ha		路網整備	開設延長	44.4 km	総事業費	1,780,840 千円		
主な事業内容	森林整備	更新面積	95 ha																
		保育面積	2,983 ha																
	路網整備	開設延長	44.4 km																
総事業費	1,780,840 千円																		
費用対効果分析	総便益（B）	6,616,262 千円																	
	総費用（C）	1,775,437 千円																	
	分析結果（B/C）	3.73																	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性：地球温暖化防止対策や国土保全及び水源涵養等の公益的機能の発揮や木材の安定供給に関する地域の要請に応えるため、本事業の実施が必要である。 ・効率性：費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。 ・有効性：国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえた計画的な森林整備により、森林の有する機能を十分発揮させる有効な事業と認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備が効率的に計画されているものと認められる。</p>																		

事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業計画期間	平成24年度～平成28年度																
事業実施地区名 （都道府県名）	（おきたま） 置賜森林計画区 （山形県）	事業実施主体	東北森林管理局 置賜森林管理署																
事業の概要・目的	<p>本計画の対象は、山形県の南部に位置する置賜森林計画区内の国有林野76,830haである。</p> <p>当計画区は、東には吾妻山地を源とする最上川が、西には最上川と水系を異にし朝日山地を源とする荒川が貫流し、国有林野はこれらの源流部等に位置し、下流域に広がる集落及び耕作地の重要な水源となっている。</p> <p>林況は、林地面積の90%がブナを主とする天然林、10%が主にスギ人工林である。</p> <p>当計画区内では、優れた景観を有する地域が多く、原始的な天然林等の優れた自然環境を維持・保全するため「朝日山地森林生態系保護地域」、「飯豊山周辺森林生態系保護地域」、「吾妻山周辺森林生態系保護地域」を設定しているとともに、「磐梯朝日国立公園」に指定されており、登山など森林を利用したレクリエーションや保健休養の場として四季を通じて多くの人々に利用されている。</p> <p>また、豊かな森林資源を利用して従来より木材加工業が発達しているほか、キノコや山菜を利用した林産物加工業が地域の重要な産業となっている。</p> <p>これらの地域に所在する森林は、それ自体が炭素の貯蔵庫であり、また、適切な森林整備とこれらを通じて供給される木材の有効活用を図ることが二酸化炭素の吸収・固定や排出抑制につながり、地球温暖化防止にも貢献することとなる。</p> <p>当事業は、これらの地域の特性を踏まえて、地球温暖化防止対策や水源涵養機能、木材生産機能等の森林の有する多面的機能を総合的かつ高度に発揮させるために必要な更新や間伐等の保育作業、並びにこれらを実施するために必要な路網整備を森林の重視すべき機能の区分に応じ実施するものである。</p>																		
	<table> <tr> <td>主な事業内容</td> <td>森林整備</td> <td>更新面積</td> <td>31 ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>保育面積</td> <td>1,308 ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td>12.0 km</td> </tr> <tr> <td>総事業費</td> <td colspan="3">586,046 千円</td> </tr> </table>			主な事業内容	森林整備	更新面積	31 ha			保育面積	1,308 ha		路網整備	開設延長	12.0 km	総事業費	586,046 千円		
主な事業内容	森林整備	更新面積	31 ha																
		保育面積	1,308 ha																
	路網整備	開設延長	12.0 km																
総事業費	586,046 千円																		
費用対効果分析	総 便 益（B）	2,818,209 千円																	
	総 費 用（C）	591,392 千円																	
	分析結果（B/C）	4.77																	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要性：地球温暖化防止対策や国土保全及び水源涵養等の公益的機能の発揮や木材の安定供給に関する地域の要請に応えるため、本事業の実施が必要である。 ・ 効率性：費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。 ・ 有効性：国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえた計画的な森林整備により、森林の有する機能を十分発揮させる有効な事業と認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備が効率的に計画されているものと認められる。</p>																		